



IS-IS の設定

- [IS-IS の概要 \(1 ページ\)](#)
- [IS-IS の設定方法 \(1 ページ\)](#)

IS-IS の概要

Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ルーティングプロトコルはリンクステートの内部ゲートウェイプロトコル (IGP) です。リンクステートプロトコルは、各参加デバイスで完全なネットワーク接続マップを構築するために必要な情報の伝播によって特徴付けられます。このマップは、その後、宛先への最短パスを計算するために使用されます。

IS-IS プロトコルは、Digital Equipment Corporation (DEC) によって 1980 年代後半に開発され、国際標準化機構 (ISO) によって ISO/IEC 10589 で標準化されました。この標準規格の現在のバージョンは、ISO/IEC 10589:2002 です。

詳細については、「[Information About IS-IS](#)」を参照してください。

IS-IS の設定方法

IS-IS のイネーブル化

IS-IS を設定するには、デバイスとインターフェイスで IS-IS を有効にする必要があります。

グローバル コンフィギュレーション モードでデバイス上で IP ルーティングプロトコルとして IS-IS を有効にするには、次のコマンドを入力します。

```
enable
configure terminal
router isis [area-tag]
net network-entity-title
end
```

BDI インターフェイスでの IS-IS の設定

BDI インターフェイスで IP ルーティングプロトコルとして IS-IS を有効にするには、次のコマンドを入力します。

```
enable
configure terminal
interface BDI<bdi-no>
ip address ip-address mask
ip router isis [area-tag]
end
```

詳細については、「[Configuring IS-IS](#)」を参照してください。

IS-IS インターフェイスでのループバックの設定

IS-IS インターフェイスでループバックを設定するには、次のコマンドを入力します。

```
interface loopback<loopback-no>
ip address <ip-address > <subnet-mask>
ip router isis area <area-tag>
end
```

IS-IS の設定例

「[Configuration Examples for IS-IS](#)」で説明されている例を参照してください。